

Guide **3-21**

統計を探すためのツール

(各国および国際機関の統計 Web サイト)

各国や国際機関統計局の公式サイトの中には、統計データの公表だけでなく、データのダウンロードが可能なところや、目的に応じて統計表・グラフ・地図などを柔軟に作成できるインターフェイスを提供しているところもあります。以下に、便利なリンク集や主な統計サイトをご紹介します。



【総務省統計局】統計関係リンク集〈外国政府の統計機関〉

e-Stat > リンク集 > 統計関係リンク集〈外国政府の統計機関〉

総務省統計局の「統計関係リンク集」にある〈外国政府の統計機関〉へのリンク集。ページ下部には、国際機関等へのリンクも掲載されています。隣のタブの〈統計年鑑等の統計書〉から、刊行物「世界の統計」が見られます。こちらの Q&A では、国際機関の主要なデータベースの使い方の説明が日本語で提供されています。

<URL> <https://www.e-stat.go.jp/relatives#tab3> (e-Stat 統計関係リンク集)

<URL> <https://www.stat.go.jp/data/sekai/qa-1.html#Q06> (「世界の統計」に関する Q&A)



【United Nations】UNdata

国際連合統計部 (UNSD) が提供する統合型統計データベース。世界各国の人口、教育、経済、環境などに関する統計データの検索・ダウンロードが可能。国連統計部や人口部、各国連機関等の作成した 30 以上のデータベースをまとめて検索できます。幅広いデータが得られますが、多すぎて使いづらい場合、Datamarts からデータセット、更新状況、個別のデータベースや機関サイトへのリンクを確認することができます。主要な Datamarts (エネルギー統計データベース、人口統計データベース、国民経済計算データなど) は比較的更新されていますが、データが古い場合やより詳細なデータがほしい場合などは、提供元の統計サイトを確認するとよいでしょう。IMF Data (マクロ経済・金融統計)、WHO Data (保健・健康統計)、後述の ILOSTAT などのように、個別の統計サイトで、より詳細なデータや使いやすいインターフェイスを提供している場合があります。また、MBS (経済・社会指標の最新データを掲載した統計月報)、SDG Indicators Database、後述の UN comtrade (国際貿易統計) については、トップページに個別のリンクがあります。

<URL> <https://data.un.org/>



【World Bank】DataBank / World Development Indicators / Open Data

世界銀行の DataBank は、国際的な経済・社会・環境・教育・保健・インフラ・貧困など多岐にわたる分野に関する統計データベースを統合したプラットフォームです。約 8,000 の統計指標が収録されており、1,400 以上の基本指標からなる World Development Indicators (WDI) も含まれています。世銀の DataBank は、国・年次・分野別にデータを抽出・可視化できる分析ツールですが、より直感的で閲覧・検索がしやすい World Bank Open Data も提供されています。

<URL> <https://databank.worldbank.org/> (DataBank)

<URL> <https://data.worldbank.org/> (World Bank Open Data)



【FAO】 FAOSTAT / FISHSTAT

FAOSTAT は、国連食糧農業機関（FAO）が提供する世界最大級かつ包括的な食料・農林水産業関連の統計データベース。1961年から245以上の国と地域のデータを提供しています。漁業・養殖業に関してはFISHSTATで詳細データを提供しています。Fishstatの上部メニューバーのFishinfoから、地図データやツール（FishStatJ）が入手可能です。

<URL> <https://www.fao.org/faostat/en/#home> <URL> <https://www.fao.org/fishery/en/fishstat>



【United Nations】 UN comtrade

国連統計部が提供する国際連合に加盟している約200か国・地域の国際貿易統計データベース。商品別・国別・年別・月別の詳細な貿易データから目的に応じた統計表を作成可能です。北大で所蔵する「貿易統計年鑑」のデータ元です。（原著の“International Trade Statistics Yearbook”は2022年で休止されていますが、Webでは最新データが入手できます。）

<URL> <https://comtradeplus.un.org/> <URL> <https://comtradeplus.un.org/Publication/ITSY>



【ILO】 ILOSTAT

国際労働機関（ILO）が提供する世界最大級の労働統計データベース。200か国以上の国や地域の雇用、児童労働、貧困、労働時間、労働災害など様々な労働分野の統計データを収録しています。DATA→Data explorerで任意の統計表を作成することができます。

<URL> <https://ilostat.ilo.org/>



【OECD】 OECD Data Explorer

経済協力開発機構（OECD）が提供する統計データベース。主にOECD加盟国を中心に、経済・教育・労働・環境・社会など幅広い分野の統計データを収録しています。統計表のカスタマイズやグラフ作成など、目的に応じて柔軟にデータを抽出・可視化することができます。

<URL> <https://data-explorer.oecd.org/>



【EU】 Eurostat

EUの統計局（Eurostat）の公式統計サイト。主にEU加盟国に関する地域統計・経済・人口・産業・農業・環境・科学など幅広い分野の統計データを収録しています。Statistics Explainedで統計の解説を提供しており、刊行を停止したEurostat Yearbookの代わりとなっています。Data Browserでは、統計表のカスタマイズやグラフ作成が可能で、国・年・指標別に柔軟なデータ抽出ができます。なお、北大で所蔵する「ヨーロッパ統計年鑑」には、Eurostatのオンラインコードが掲載されているため、最新データへのアクセスも容易です。

<URL> <https://ec.europa.eu/eurostat>



【アメリカ】 U.S. census bureau

アメリカ国勢調査局（U.S. census bureau）の公式サイト。10年に1度行われる国勢調査（census）をはじめ、人口・住宅・経済・雇用・教育など多岐にわたる分野の統計調査データを収録しています。

前掲の総務省統計局リンク集〈外国政府の統計機関〉にあるアメリカの各統計機関などでもそれぞれの専門分野に特化した統計データを提供しています。

<URL> <https://www.census.gov/data.html>

参考文献

上野佳恵. 海外統計データの調べ方. 情報の科学と技術. 2022, 72(10), p.397-402 [オープンアクセス]

労働政策研究・研修機構 HP に掲載されている海外労働関連機関や統計機関のリンク集. <https://www.jil.go.jp/foreign/link/index.html>

国立国会図書館リサーチナビ > 統計 <https://ndlsearch.ndl.go.jp/rnavi/statistics> EU-統計、海外に関する統計、国際連合-主要統計、人口に関する統計、統計の調べ方（アジア全体）（中東・北アフリカ）（南アジア）など多数